

NEXC O 中日本における降雪時の対応に関する検討会（第1回）

議事要旨

1. 日 時 令和6年4月25日（木） 15:00～16:50

2. 場 所 T K P 東京駅カンファレンスセンター 8階 ホール8 A（W E B 併用）

3. 出席者（五十音順、◎は座長）

佐々木 邦明 早稲田大学 理工学術院 教授

佐藤 豊 気象庁大気海洋部 気象リスク対策課 課長

中村 一樹 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター センター長

◎ 藤本 明宏 福井大学 大学院工学研究科 安全社会基盤工学専攻 准教授

オブザーバー 関係機関

4. 議事要旨

（1）名神高速道路での大規模滞留事象を踏まえた課題と検討の方向性

○令和5年1月24日～25日の大雪時における名神高速道路（関ヶ原地区）での対応状況、原因・課題及び今後の検討の方向性について確認した

（2）検討の進め方とスケジュール

○課題を踏まえた名神高速道路（関ヶ原地区）での具体の対応策について検討していくことを確認した

○6月を目途に対応策をとりまとめ、その後、関係機関連携に向けた協議調整を進め、令和6年度の雪氷対策に反映していくことを確認した

（3）ご意見等

○J P C Zの局所的な予測は難しい。降雪予測と降雪実況を確認しながら対応することが重要である

○予防的通行止め基準の見直しだけでは、上振れに対応できないので、路面状態を把握することが非常に重要である。

路面状態の予測や管理用車両のカメラ画像等を有効活用し、路面状態を確認することが必要である

○スタック車両の早期発見のため、様々な交通データの活用や、交通特性・気象条件が特殊な地域においては、カメラによる全線監視や自動検知の導入を検討すべき

○実施した出控え広報のメッセージは、外出を許容するメッセージと解釈される可能性があり、見直しが必要である

以 上